

令和7年度中期計画進捗状況に対する所見（素案）からの主な修正箇所一覧

No.	大項目 該当箇所	所見（素案）の文章	修正案	備考
1	主な所見	東京都公立大学法人は、第四期中期計画の3年目である令和7年度において、将来の東京の成長を支える人材の育成など幅広い事業を展開し、その多くで評価指標の達成に向けて着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。 【東京都立大学】 学長裁量枠を活用し分野を限定せず研究に専念できる助教を採用する「知のみやこプロジェクト」により、若手研究者3名を採用するなど大学の研究力向上に寄与する優秀な若手研究者の確保・育成に向けた取組が進められている。 【東京都立産業技術高等専門学校】 ICT・IoT 関連講座や品川区と連携した「ものづくりテクノスタジオ 2025」など、<u>高専</u>の特色を生かした小中学生向けものづくりや情報技術を体験する機会を提供し、目標を上回る参加者数を獲得しており、科学技術への興味・関心の醸成を図るとともに、<u>高専</u>の認知度向上や地域との交流促進につながる取組を進めている。	■総括 東京都公立大学法人は、第四期中期計画の3年目である令和7年度において、教育・研究・社会貢献など幅広い事業を展開し、その多くで着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。 ■項目別所見 【東京都立大学】 学長裁量枠を活用し分野を限定せず研究に専念できる助教を採用する「知のみやこプロジェクト」により、<u>多数の応募の中から厳選された若手研究者を採用するなど、大学の研究力向上に寄与する優秀な若手研究者の確保・育成に向けた取組が進められている。</u> 【東京都立産業技術高等専門学校】 ICT・IoT 関連講座や品川区と連携した「ものづくりテクノスタジオ 2025」など、<u>産技高専</u>の特色を活かした小中学生向けものづくりや情報技術を体験する機会を提供し、<u>挑戦的な評価指標を上回る参加者数を獲得している。これにより、科学技術への興味・関心の醸成を図るとともに、産技高専の認知度向上や地域との交流促進につながる取組を進めている。</u>	第3回分科会の審議を踏まえた修正 第3回分科会の審議を踏まえた修正 (大項目7再掲) 第3回分科会の審議を踏まえた修正 (大項目14再掲)
2	総括	東京都公立大学法人（以下「法人」という。）は第四期中期計画の折り返し点となる令和7年度において、将来の東京の成長を支える人材の育成など幅広い事業を展開し、その多くで評価指標の達成に向けて着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。 法人の設置する東京都立大学（以下「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下「産技高専」という。）は、これまでの取組の成果を基に施策のブラッシュアップを図り、環境の急速な変化に機敏に対応しながら、既存の計画のみならず新たな視点を持って積極的な挑戦を推進している。 中期計画期間後半においても、加速する社会の変容を飛躍のチャンスと捉え、国際社会や産業界等で活躍できる豊かな人間性・創造性を兼ね備えた人材の輩出や新たな知の創造に向けた取組を着実に推進し、更なる成果につなげていくことを期待する。	東京都公立大学法人は第四期中期計画の折り返し点となる令和7年度において、将来の東京の成長を支える人材の育成など幅広い事業を展開し、その多くで評価指標の達成に向けて着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。 同法人の設置する東京都立大学（以下「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学及び東京都立産業技術高等専門学校（以下「産技高専」という。）は、これまでの取組の成果を基に施策のブラッシュアップを図り、環境の急速な変化に機敏に対応しながら、既存の計画のみならず新たな視点を持って積極的な挑戦を推進している。 中期計画期間後半においても、<u>2大学1高専の特徴を活かし、加速する社会の変容を飛躍のチャンスと捉え、国際社会や産業界等で活躍できる豊かな人間性・創造性を兼ね備えた人材の輩出や新たな知の創造に向けた取組を着実に推進し、更なる成果につなげていくことを期待する。</u>	第3回分科会の審議を踏まえた修正
3	大項目1	◎優れた点・特色ある点 ・TMU サステナブル研究推進機構を中心に、都の課題解決に向けた調査・研究は着実に実績数を増やしながらか進められており、<u>目標達成に向け順調に実績を積み重ねている</u>。今後は、実施件数に加え、成果還元の状態や社会への貢献がより分かるよう示されることが期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・TMU サステナブル研究推進機構を中心に、都の課題解決に向けた調査・研究は着実に実績数を増やしながらか進められており、<u>挑戦的な評価指標の達成に向け順調に実績を積み重ねている</u>。今後は、実施件数に加え、<u>成果還元の状態や都政への貢献がより分かるよう示されることが期待される。</u>	第3回分科会の審議を踏まえた修正

4	大項目 2	◎優れた点・特色ある点 - TMU Innovation Hub を拠点に、産学公連携研究（10 件）や大学発ベンチャー支援が着実に実施され、多摩地域のコミュニティ形成 - アントレプレナーシップ教育やビジネスアイデアコンテスト等を通じて、<u>学生の起業家マインドを備えた人材育成が図られている。</u> - オープンユニバーシティやプレミアム・カレッジでは、高い受講満足度を維持するとともに、多様な学習ニーズに対応した取組が進められている。今後は、<u>さらなる価値向上の取組や、プレミアム・カレッジを修了したシニアに対する新たな活躍の場の提供が期待される。</u> ◇改善・充実を求める点 - アントレプレナーシップ教育については、更なる受講者の拡大が望まれる。	◎優れた点・特色ある点 - TMU Innovation Hub を拠点に、<u>挑戦的な評価指標とした産学公連携研究（10件）や大学発ベンチャー支援が着実に実施され、多摩地域のコミュニティ形成や教育・研究の進展に貢献している。</u> - アントレプレナーシップ教育やビジネスアイデアコンテスト等を通じて、<u>起業家マインドを備えた人材育成が図られている。今後、アントレプレナーシップ教育の受講者の拡大を含めて、更なる質の充実が期待される。</u> - オープンユニバーシティやプレミアム・カレッジでは、高い受講満足度を維持するとともに、多様な学習ニーズに対応した取組が進められている。今後は、<u>プレミアム・カレッジを修了したシニアの新たな場での活躍など、更なる価値向上が期待される。</u>	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 事業内容に対応した表現の修正
5	大項目 3	◇改善・充実を求める点 文理教養プログラムについては、<u>履修者数に見合った修了者数の確保に向けた取組が望まれる。</u>	◇改善・充実を求める点 文理教養プログラムについては、<u>履修継続支援等の工夫を行い、修了者は令和 6 年度の 1.5 倍以上に増加しているが、評価指標の達成に向け更なる修了者数の確保に向けた取組が望まれる。</u>	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
6	大項目 4	◇改善・充実を求める点 在籍留学生数及び海外派遣学生数については、社会情勢的に厳しい状況にあるが、引き続き要因分析や効果検証を行いながら取組を更に進めることが求められる。また、受入れや派遣の取組の成果について、修了後の進路先なども含め、より分かりやすい<u>情報発信</u>が期待される。	◇改善・充実を求める点 在籍留学生数及び海外派遣学生数については、<u>挑戦的な評価指標として設定されたものであり、渡航支援の拡充等により、短期派遣者数は増加しているものの、達成が困難な状況にある。</u>さらに社会情勢的にも厳しい状況にあるが、引き続き要因分析や効果検証を行いながら取組を進めることが求められる。また、受入れや派遣の取組の成果について、修了後の進路先なども含め、より分かりやすく<u>示すこと</u>が期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
7	大項目 5	◎優れた点・特色ある点 <u>セクシャル・マイノリティに関する研修や各種経済支援、課外活動支援などを通じて、多様な学生が安心して学べる環境づくりが進められている。</u>今後は、地域活動等を通じた学生の主体性や社会参画を促す取組の充実が期待される。 <u>無線LAN環境の運用開始による情報通信環境の整備</u>や、LMS刷新に向けた検討など、学生の学修・生活環境の向上が図られている。	◎優れた点・特色ある点 <u>多様な学生が安心して学べる環境づくりを目指し、各種経済支援や課外活動支援、ダイバーシティに関する研修などが進められている。</u>今後は、<u>ボランティア活動等の地域活動等</u>を通じた学生の主体性や社会参画を促す取組の充実が期待される。 <u>新しい無線LAN認証方式と新しい無線LAN機器での運用開始による情報通信環境の改善</u>や、<u>Learning Management System</u>刷新に向けた検討など、学生の学修・生活環境の向上が図られている。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 事業内容に対応した表現の修正
8	大項目 7	◎優れた点・特色ある点 - 学長裁量枠を活用し分野を限定せず研究に専念できる助教を採用する「知のみやこプロジェクト」により、<u>若手研究者 3 名</u>を採用するなど大学の研究力向上に寄与する優秀な若手研究者の確保・育成に向けた取組が進められている。採用者の今後の活躍により、都立大学のプレゼンスの向上と研究成果の社会への還元が促進されることを期待する。 - テニユアトラック制度による採用人事が増えている。	◎優れた点・特色ある点 - 学長裁量枠を活用し分野を限定せず研究に専念できる助教を採用する「知のみやこプロジェクト」により、<u>多数の応募の中から厳選された若手研究者</u>を採用するなど大学の研究力向上に寄与する優秀な若手研究者の確保・育成に向けた取組が進められている。採用者の今後の活躍により、都立大学のプレゼンスの向上と研究成果の社会への還元が促進されることを期待する。 <u>制度をより活用しやすくための見直し内容について周知を徹底し、テニユアトラック制度による採用人事が増えている。</u>	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 （主な所見再掲） 事業内容に対応した表現の修正

		・構成員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた支援が着実になされている。今後は、介護も含めた支援の施策の<u>検討</u>が期待される。 ◇改善・充実を求める点 ・被引用率トップ10%論文割合は前年度比で減少しており、要因の分析・把握に努め、更なる改善に向けた取組が求められる。	・構成員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた支援が着実になされている。今後は、介護も含めた支援の施策の<u>拡充</u>が期待される。 ◇改善・充実を求める点 ・被引用率トップ10%論文割合は、<u>挑戦的な評価指標ではあるが、実績としては、前年度比で減少している。要因の分析・把握に努め、研究時間確保に資する業務負担軽減等</u>、更なる改善に向けた取組が求められる。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
9	大項目 8	◎優れた点・特色ある点 ・自治体や企業等と連携した新規事業を前年度よりも2件多く6件実施するなど積極的に展開するとともに、DXやデータ分析など社会的ニーズに対応した取組が進められている。 ・AIITフォーラムでは、受講者ニーズを踏まえた講座テーマの設置等により高い満足度を維持しながら、教育研究成果の社会還元が図られており、社会貢献や大学認知度の向上の観点からも、視聴回数の拡大に向けて、周知方法やテーマ設定の工夫が期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・自治体や企業等と連携し新規の連携事業を毎年創出するという挑戦的な評価指標において、前年度よりも2件多く6件実施するなど、積極的に展開するとともに、DXやデータ分析など社会的ニーズに対応した取組が進められている。 ・AIITフォーラムでは、受講者ニーズを踏まえた講座テーマの設置等により高い満足度を維持しながら、教育研究成果の社会還元が図られている。今後は、社会貢献や大学認知度の向上の観点からも、視聴回数の拡大に向けて、周知方法やテーマ設定の工夫が期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
10	大項目 9	◎優れた点・特色ある点 ・運営諮問会議の答申等を踏まえ、授業改善やディプロマサプリメント改善など、教育の質向上に向けた取組が進められている。且本全体の持続的発展に向けて、東京都が日本経済を牽引しつつ、東京と地方が共存共栄することを目指し、プロフェッショナル人材の育成に期待したい。 ・IRシステムの充実などを通じ、内部質保証の充実を図った。機関別認証評価の受審に向けて明らかになった課題を踏まえた改善が期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・運営諮問会議の答申等を踏まえ、授業改善やディプロマサプリメントの改善など、教育の質向上に向けた取組が進められている。東京都が日本経済を牽引しつつ、東京と地方の共存共栄や地方創生を目指すプロフェッショナル人材の育成に期待したい。 ・IRシステムの充実などを通じ、内部質保証の充実を図った。さらに機関別認証評価の受審準備で明らかになった課題を踏まえて、更なる改善が期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
11	大項目 10	◎優れた点・特色ある点 ・新たな能力指標について、修了時の目標到達割合100%を達成するなど、着実にグローバル人材育成を行っている。	◎優れた点・特色ある点 ・新たなグローバル人材の能力指標について、修了時の指標達成割合が評価指標を上回り、前年度から100%を維持するなど、着実にグローバル人材育成を行っている。	事業内容に対応した表現の修正
12	大項目 14	◎優れた点・特色ある点 ・ICT・IoT 関連講座や品川区と連携した「ものづくりテクノスタジオ 2025」など、高専の特色を活かした小中学生向けものづくりや情報技術を体験する機会を提供し、目標を上回る参加者数を獲得しており、科学技術への興味・関心の醸成を図るとともに、高専の認知度向上や地域との交流促進につながる取組を進めている。継続的に実施することで、高専の価値向上につなげていくことを期待したい。	◎優れた点・特色ある点 ・ICT・IoT 関連講座や品川区と連携した「ものづくりテクノスタジオ 2025」など、産技高専の特色を活かした小中学生向けものづくりや情報技術を体験する機会を提供し、6年間で参加者 600 名以上という挑戦的な評価指標を上回る参加者数を獲得している。これにより、科学技術への興味・関心の醸成を図るとともに、産技高専の認知度向上や地域との交流促進につながる取組を進めている。今後は、継続的に実施することで、産技高専の価値向上につなげていくことを期待したい。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 (主な所見再掲)
13	大項目 15	◎優れた点・特色ある点 ・ONE DAY RECURRENT 講座等を通じて、社会人のスキルアップや学び直し支援に取り組んでいる。技術者同士の新たな交流のイベントについて、オンライン開催等により参加のハードルを下げて集客につながるような取組も含めた検討が期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・ONE DAY RECURRENT 講座等を通じて、社会人のスキルアップや学び直し支援に取り組んでいる。今後は、技術者同士の新たな交流のイベントについて、より参加しやすい環境整備も含めた検討が期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正

14	大項目 16	◎優れた点・特色ある点 ・海外体験プログラムについて、新たな派遣先の開拓を進めるとともに、認知度向上を図り、<u>目標値</u>を満たす参加者数の確保に向けた取組が進められている。	◎優れた点・特色ある点 ・海外体験プログラムについて、新たな派遣先の開拓を進めるとともに、認知度向上を図り、<u>挑戦的な評価指標</u>を満たす参加者数の確保に向けた取組が進められている。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
15	大項目 17	◎優れた点・特色ある点 ・継続的な学生アンケート調査の実施や、スクールソーシャルワーカーの活用、関係部署間の連携により、学生支援体制の充実が図られている。専門的サポートも含め更なる充実を図るとともに、相談の利用状況等を確認しながら支援を必要とする学生への働きかけを進めることが期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・継続的な学生アンケート調査の実施や、スクールソーシャルワーカーの活用、関係部署間の連携により、学生支援体制の充実が図られている。<u>今後</u>、専門的サポートも含め更なる充実を図るとともに、相談の利用状況等を確認しながら支援を必要とする学生への働きかけを進めることが期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
16	大項目 18	◎優れた点・特色ある点 ・SNSや学生広報チームを活用した情報発信、広報対象者の拡大や、広報コンテンツの充実等による学校の認知度向上に取り組み、ホームページのアクセス数等が増加している。	◎優れた点・特色ある点 ・SNSや学生広報チームを活用した情報発信、広報対象者の拡大や、広報コンテンツの充実等による学校の認知度向上に取り組み、<u>挑戦的な評価指標である</u>ホームページのアクセス数等が増加している。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
17	大項目 20	◎優れた点・特色ある点 ・法人の特性に応じた独自の東京都公立大学法人ガバナンス・コードを策定・公表し、透明性を高め、都民からの信頼を得るべく努めている。<u>また、部長連絡会等を通じた情報共有や意見交換により</u>、重点課題に迅速に対応する戦略的な法人運営の継続に期待する。 ・経営審議会の議事要録の具体化により透明性を高めた。<u>今後、議事録が更に実質的なガバナンス証跡として進化することを期待したい。</u> ・グローバル・コミュニケーション・プログラムは、2 大学 1 高専の特徴を活かした独自性が高い実践的国際教育プログラムとして、世界共通の社会課題の調査研究を通じたアイデア創出を行っている。成果の可視化も含め、更なる発展と充実が期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・法人の特性に応じた独自の東京都公立大学法人ガバナンス・コードを策定・公表し、透明性を高め、都民からの信頼を得るべく努めている。<u>これを踏まえ、部長連絡会等を通じた情報共有や意見交換を通じた</u>重点課題に迅速に対応する戦略的な法人運営の継続・発展に期待する。 ・経営審議会の議事要録の具体化により透明性を高めた。<u>今後、経営上の重要事項に関する議論の内容を分かりやすく示すことなどにより、法人のガバナンスの実効性が一層向上することを期待したい。</u> ・グローバル・コミュニケーション・プログラムは、2 大学 1 高専の特徴を活かした独自性が高い実践的国際教育プログラムとして、世界共通の社会課題の調査研究を通じたアイデア創出を行っている。<u>今後は</u>、成果の可視化も含め、更なる発展と充実が期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
18	大項目 21	◎優れた点・特色ある点 ・教員の人事施策について、<u>人材確保・活躍のために</u>、人事制度、諸手当、採用施策などの見直しを積極的に行い、赴任旅費の対象拡大や各種加算の見直しなど、優秀な人材の確保・活躍に向けた制度改善を着実に進めている。今後も、それらの効果の確認状況やニーズの変化なども踏まえてタイムリーな見直しが期待される。 ・DEI推進に向け、女性教員比率・外国人教員比率とも向上に向けた取組を着実に推進し、<u>将来の女性研究者としての活躍の普及啓発として、中学生の職場体験の受け入れに取り組んでいる。</u> ・働き方改革推進計画に基づき、文書管理システムの運用や生成AIの活用による業務効率化や、部分休業制度や介護休業制度の拡充など休暇制度の見直しを進めるとともに、職員の声を踏まえたワークスペースの整備や「夏のノー通勤チャレンジデー」の実施など、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。<u>今後は</u>、生成AIの活用について、情報セキュリティにも十分配慮しながら取組を進めることが期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・教員の人事施策について、人事制度、諸手当、採用施策などの見直しを積極的に行い、赴任旅費の対象拡大や各種加算の見直しなど、優秀な人材の確保・活躍に向けた制度改善を着実に進めている。今後も、それらの効果の確認状況やニーズの変化なども踏まえてタイムリーな見直しが期待される。 ・DEI推進の<u>一環として</u>、女性教員比率・外国人教員比率とも向上に向けた取組を着実に推進している。 ・働き方改革推進計画に基づき、文書管理システムの運用や生成AIの活用による業務効率化、部分休業制度や介護休業制度の拡充など休暇制度の見直しを進めるとともに、職員の声を踏まえたワークスペースの整備や「夏のノー通勤チャレンジデー」の実施など、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。生成AIの活用については、<u>AI利活用ポリシーに基づき</u>情報セキュリティにも十分配慮しながら取組を進めることが期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正

19	大項目 22	◎優れた点・特色ある点 ・危機管理体制の整備やコンプライアンス行動指針の策定に向けた検討が進められた。<u>個別領域ごとの対応に加え、内部統制の基本方針や体制を明確化し、統合的なリスクマネジメントの充実を図るとともに、他大学法人事例も参考に確実な運用に取り組むことで、法人全体の社会的信頼性をさらに高めていくことが期待される。</u>	◎優れた点・特色ある点 ・危機管理体制の整備やコンプライアンス行動指針の策定に向けた検討が進められた。 ・<u>内部統制の基本方針や体制を明確化した上で個別領域ごとの対応をはかっている。</u> ◇改善・充実を求める点 ・<u>今後は、他大学法人事例も参考に、統合的なリスクマネジメントの充実に取り組むことで、法人全体の社会的信頼性を更に高めていくことが望まれる。</u>	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
20	大項目 23	◎優れた点・特色ある点 ・寄附方法の多様化や広報活動の充実など、寄附<u>金</u>獲得に向けた取組が進められ、寄附件数が対前年比47%増という成果をあげている。卒業生や修了生との<u>戦略的な関係構築</u>等を通じて、寄附文化の醸成や寄附金額の増加につなげることが期待される。 ・予算執行管理の工夫や目的積立金の活用により、教育研究活動を支える戦略的な財務運営に取り組んでいる。今後も社会の変化に柔軟に対応し、必要な事業へ適切に予算を振り分ける配分計画の作成等を通じて、<u>無駄のない</u>計画的な財務運営が期待される。	◎優れた点・特色ある点 ・<u>遺贈寄附などの寄附方法の多様化や広報活動の充実など、寄附獲得に向けた取組が進められ、寄附件数が対前年比47%増という成果をあげている。</u><u>今後は、卒業生や修了生とのきめ細かい関係構築等を通じて、寄附文化の醸成や寄附金額の増加につなげることが期待される。</u> ・予算執行管理の工夫や目的積立金の活用により、教育研究活動を支える戦略的な財務運営に取り組んでいる。今後も社会の変化に柔軟に対応し、必要な事業へ適切に予算を振り分ける配分計画の作成等を通じて、<u>実効性のある</u>計画的な財務運営が期待される。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正 第 3 回分科会の審議を踏まえた修正
21	大項目 25	◎優れた点・特色ある点 ・TMUサステナブル研究推進機構を中心に、持続可能な社会の実現に向けた研究が着実に進められており、<u>目標</u>を上回る実績を上げている。	◎優れた点・特色ある点 ・TMUサステナブル研究推進機構を中心に、持続可能な社会の実現に向けた研究が着実に進められており、<u>挑戦的な評価指標</u>を上回る実績を上げている。	第 3 回分科会の審議を踏まえた修正

※ その他、評価指標に係る記載についての文言統一や軽易な表現の修正を行った。